

シンポジウム：保健・医療・福祉を担う人材育成について—いま求められる人材像—①

保健・医療・福祉を担う人材育成について
—いま求められる人材像—

青森県立保健大学 石鍋圭子

青森県立保健大学は、教育理念にも唱っていますように健康と生活の質の向上のためにヒューマンケアを実践できる人材育成を目指しています。健康科学部の中に看護学科、理学療法学科、社会福祉学科、栄養学科（平成

20年4月開設)を擁し、保健医療福祉の専門職として地域・社会に貢献できることを目標にカリキュラムを組み立てています。ここでは学部教育および大学院、教育センターでの教育・研修の実際から、本学が取り組んでいる人材育成の実際をお話しようと考えます。

1. 保健医療福祉の発展に寄与できる人材

現代社会の変化の中で、特に大学への高進学率による学部学生の能力や将来展望も多様化の一途をたどっているといわれています。また、大学や大学院は社会からの各種ニーズや目的に適合した即戦力となる人材の育成を求められています。例えば本学では、卒業時に取得できる資格として、看護学科は保健師助産師看護師の国家試験受験資格が、理学療法学科は理学療法士の国家試験受験資格が、そして社会福祉学科は社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格が取得できます。また、理学療法学科では、卒業後の就職先を考慮して医療機関勤務を志望する学生向けの医療領域モデルや保健機関・福祉施設勤務を志望する学生向けの福祉領域モデルの履修例を示しています。同様に社会福祉学科では児童相談所、社会福祉事務所などの社会福祉行政機関を志望する学生向けの福祉行政モデル、主に社会福祉施設を中心とした社会福祉の現場を志望する学生向けの社会福祉臨床モデル、精神保健福祉士モデルの履修例を示して学生の個別のニーズに応え得る工夫をしています。さらに、4月開設の栄養学科では、管理栄養士の資格に加え、栄養教諭免許取得のための教職課程を設ける計画です。大学院の場合、研究能力を高める論文コースに対して、専門的職能をもつ人材育成を目的とした専門看護師コースを設置しています。このように学部教育では、専門職業人として能力が発揮できるために、科学的な知識体系を準備しています。しかし、卒業後も社会の変化に対応し、社会の変革に参画できるような高度な専門職業人として成長できる能力をもつことがより重要であると考えます。

少子・高齢社会ではさまざまな保健医療福祉サービスの需要が増大していくでしょう。それらのサービスは、各分野各専門職が個別に提供するのではなく、利用者を中心に据えた上で、限られた資源を総合的効率的に組み合わせる保健医療福祉のサービスを一体的に提供することが求められます。そのための連携は、ヒューマンケアに関わる専門職にとって欠かすことが出来ません。本学では、専門性と同時に連携・協調できる能力の育成を重視しています。全学科合同授業、「ケアマネジメント論演習」などを通して学科相互の連携を図り、各学科の専門性を追求するとともに、多職種との協働でよりよいケアを追求するフィールドワークを行っています。

2. 地域・社会の生涯学習の場として

現代社会の課題は、「環境」「健康・福祉」「情報」をキーワードとするといわれますが、これらの課題解決ができる人材の育成を行うために、高い問題意識を有する社会人に、より高度な学習の場を提供することが、高等教育機関に求められています。

本学大学院の場合、研究能力を高める論文コースに併せて、専門的職能をもつ人材育成を目的とした専門看護師コースを設置しています。また、社会人が学習しやすいような夜間開講や科目履修制、研究生制度を取り入れ、さらに長期履修コースなどのさまざまなシステムを取り入れるよう検討を進めています。

教育センターでは、大学の地域貢献を目的に様々な研修プログラムを設けています。看護専門職教育課程はそのひとつですが、救急看護認定看護師コース、認定看護管理者コースがあり、これまでに多くの修了生を排出し県内外に送り出しています。また、研修科では、現職専門職の学習の場として時宜の課題に対する情報提供や技術的な支援を行う重点研修や「ケアマネジメントフォーラム」のような、保健医療福祉を横断するテーマを継続的に研修する機会を提供しています。同時に、教員が地域の専門職に対して企画・運営する研修事業を助成する制度があります。さらに、現代GP事業では、地域住民に対する包括ケアをキーワードに公開講座や専門職対象の学習会を開催しています。

このように、大学の知的資源を活かしたさまざまな取り組みを展開していますが、これらは地域の生涯学習の中核施設として大学に求められる人材育成であると考えます。